

手塚マンガをよむ

～『ブッダ』『火の鳥<鳳凰編>』ほか～



『鉄腕アトム』や『ジャングル大帝』『火の鳥』など数々の名作を生み、第1回広島国際アニメーションフェスティバルのグランプリ受賞者でもある漫画界・アニメ界の巨匠手塚治虫。その手塚マンガの世界観や魅力について、有識者がパネルディスカッションを繰り広げます。

※背景に描かれているのはサンスクリット語のお経です。

illustration: 村上渚

日時：平成29年3月23日(木) 19:00～20:30

場所：JMS アステールプラザ5階 視聴覚スタジオ

内容：有識者3名によるパネルディスカッション

主催：NPO法人広島アニメーションシティ

協力：広島メディア芸術振興プロジェクト会議、広島市まんが図書館、手塚プロダクション

問合せ：NPO法人広島アニメーションシティ事務局 広島国際学院大学 情報文化学部 谷口重徳研究室内

電話：082-820-2710

入場無料

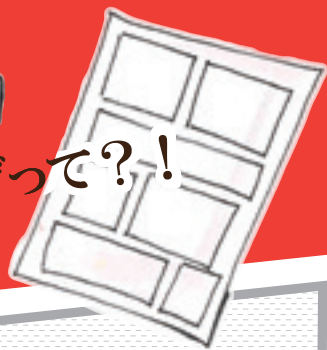
定員

先着50名

手塚治虫 ってどんな人だったの？

手塚マンガ ってどんな特徴があるの？

手塚の死生観 と 仏教 が題材になっているマンガって？！



3名の有識者がパネルディスカッションを行い、手塚治虫のパーソナリティーや、手塚マンガに描かれる「妬み」「許し」「死生観」は「仏教」ではどう解釈できるのか？！など手塚マンガを読み解くヒントに迫ります！！

吉村昇洋 (仏教マンガ研究) 普門寺副住職・臨床心理士

広島県出身。専門は仏教学と臨床心理学。テレビやラジオなど様々な全国・地方メディアにて心理学の観点も持つ禅僧として活動。また、マンガ領域では特に仏教マンガを専門としており、概論の『現在観測』『僧侶も知らない仏教アナザーワールド～お坊さんから見た仏教マンガの今～』(KKベストセラーズ)、書評連載の『春秋』『マンガで読む仏教』(春秋社)、宗教マンガ鼎談の『宗教と現代がわかる本 2015』(平凡社)などを執筆。

久保直子 (マンガ研究)

比治山大学短期大学部 美術科マンガ・キャラクターコース講師

大阪府出身。京都精華大学ストーリーマンガコース卒業。専門はマンガと教育。マンガ家のアシスタントをするかたわら、マンガ作画指導の講師や専門学校のマンガ講師、携帯コミックのオーサリング(データ作成)業務等で幅広く活動。2006年からは京都国際マンガミュージアムでワークショップや展覧会のアートディレクションを担当し、フランス・スペイン・上海など、国内外を問わずマンガ教室を実施。日本マンガ学会正会員。



岡野孝子 (仏教史研究) (公財) 広島市文化財団 広島城学芸員

京都出身。実家が寺だったことや、父の影響もあり大学で仏教史を専攻する。当初、インド仏教史を志すが、恩師が急逝。近世真宗史に方向転換。卒業後ひょんなことから埋蔵文化財の世界に入り、保存処理のエキスパートを目指す。無慈悲な異動でこども文化科学館に転勤。必死で星の名前を覚えた。と思ったら広島城に転勤、現在に至る。ちなみに手塚マンガの知識はほぼゼロ。



お **勧め** 課題図書

『ブッタ』『火の鳥<鳳凰編>』ほか
手塚マンガを読んだ人もこれから読んでみたい人も、これを読んでからご来場いただくと
理解が深まります！！

